

2019年12月23日

「健康な食事・食環境」コンソーシアム  
認証基準見直しに関するメール審議結果（議事録）

2019年12月12日〆切でメール審議を実施した以下3件のうち、審議事項2と3は、期日までに回答のあった9学会の回答により原案採択とした。継続審議とした審議事項1について、以下の通りとした。

1. 日本人の食事摂取基準2015年版から2020年版への改定に伴う基準の見直し
2. 更新受付時期と認証期間の連続性について（第2回認証事業者に関する対応）
3. 第28回日本給食経営管理学会研修会を、コンソーシアムとの「共催」とすること

**審議事項1**

**日本人の食事摂取基準2015年版から2020年版への改定に伴う基準の見直し**

⇒「承認」8件、「条件付きで承認」3件、未回答1件 ⇒承認

「条件付きで承認」3件の内容、および付された1件のご意見は、いずれも食塩相当量の基準に関することであった（詳細は下記【参考】を参照）

付された意見をふまえて、12月19日に、日本栄養改善学会 食環境整備推進委員会委員4名及び日本給食経営管理学会からのオブザーバー1名で、検討した結果、第4回応募については、以下の通りとした。

今後、さらに食塩相当量の基準を下げる具体的な数字や目標は、第1回認証事業者の更新状況もふまえて検討し、来年6月開催予定のコンソーシアム会議で、第5回応募に向けて議論をすることとした。

（基準に関する応募事業者向けの説明文）

日本人の食事摂取基準2020年版への対応を検討した結果、食塩相当量の基準は、保存やコストの面から現状のままとしますが、今後、さらなる減塩を推進するため、数年かけて低下させていきます。

今回は、減塩を推進する目的で、オプション項目に、「スマートミールの食塩相当量は、「ちゃんと」は1食2.5g未満、「しっかり」は1食3.0g未満である」（新項目26）を追加し、このオプション項目を満たすスマートミールの展開を奨励していくことと致します。

**【参考】「条件付きで承認」の意見と対応**

◎日本高血圧学会

- 1) 基準の見直しに関する説明文章の「② 食塩相当量は、・・・上限ぎりぎりであるメニューが多かった。美味しさも重視する視点から、現状の基準を・・・」の『美味しさも重視する視点から』は、「食塩を減らすと美味しくない」と受け取られる恐れがあるため、「保存やコスト面から」等の文面に修正する。 →修正した。

2) 食塩 3.5g の食事は減塩とは言い難く、下記努力目標を設け、3年以内の達成を目指して欲しい。

ちゃんと (450~650kcal 未満) は食塩 2.5g 未満に、

しっかり (650~850 kcal) は食塩 3.0g 未満に)

→追加のオプション項目の表現を再検討し、上記枠内の提案内容とし、応募事業者にさらなる減塩をめざしていただけるように提示することとした。

#### ◎日本腎臓学会

次回以降、主要項目の食塩相当量を見直す。現行では日本人の平均摂取量と同等量で努力目標値にならないため。 →今後、基準を少しずつ下げる方向で検討する。

#### ◎健康経営研究会

①美味しさも重視するとのことですが、食塩相当量のスマートミールの基準である 3.0g 未満・3.5g 未満の維持は残念ながら、賛成できません。全体として減量し、広く多くの皆様に知識の啓発と食事の提供業者の切磋琢磨によって、よりよい食がご提供いただけることを切望します。

オプション項目の設置については賛同いたしますが、基準は検討が必要と思われます。

→今回は上記の考え方で進め、今後、さらに基準を下げる検討を行っていく。

②たんぱく質エネルギー比は、弾力的運用とありますが、改善が望ましいと考えます

→「弾力的運用」とは、スマートミールの基準として弾力的に運用する、という意味ではなく、そもそも、食事摂取基準の「目標量」が、当面の日本人が目標とすべき摂取量として、その範囲が「おおむねの値」で示されているものであり、かつ、「生活習慣病予防の観点から弾力的に運用すること」とされている。したがって、今回は提案通り変更なし、とさせていただきます。

## 審議事項 2

### 更新受付時期と認証期間の対応について (第 2 回認証事業者に関する対応)

#### ⇒提案通り承認

WG で検討した結果、認証事業者の更新受付を、外食・中食は新規応募と同時期の 1-2 月に、給食は新規応募は 1-2 月、更新は 3 月とすることにした。

また、第 2 回認証事業者 (2019.2.22~2021.2.21 で認証を受けている) は、2020 年に更新するか、2021 年に更新するかを事業者自ら選択できるものとした。2021 年の更新とする場合、今回に限り、現在の認証期間が更新日まで継続しているものとみなす。以上より、更新受付と、その後の認証期間は下記の通りとする。

#### ◎更新受付時期と期間 (受付は外食・中食が 1-2 月、給食が 3 月)

第 1 回認証事業者 2020 年 1 月~3 月に受付、更新日 2020.8.1 (期間 2020.8.1~2022.7.31)

第 2 回認証事業者 2020 年 1 月~3 月 (a) または 2021 年 1-3 月 (b) に受付

(a の場合) 更新日 2020.8.1 (期間 2020.8.1～2022.7.31)

(b の場合) 更新日 2021.8.1 (期間 2021.8.1～2023.7.31)

第 3 回認証事業者 2021 年 1 月～3 月受付、更新日 2021.8.1 (期間 2021.8.1～2023.7.31)

### 審議事項 3

第 28 回日本給食経営管理学会研修会を、コンソーシアムとの「共催」とすること

⇒以下の研修会について、提案通り「共催」とすることで承認。

#### ◎研修会の概要

テーマ：健康経営の推進における従業員食堂の役割と期待

—健康な食事・食環境の整備を効果的に推進するために必要なことは—

開催日時：2020（令和 2）年 2 月 19 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分

開催場所：東京国際フォーラム 7 階 G701 会議室

内容：

講演 1 「健康経営の動向（仮題）」

講師 経済産業省担当官（経産省ヘルスケア産業課に依頼済。現在講師調整中）

講演 2 「勤労者の健康支援における従業員食堂への期待（仮題）」

講師 東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授 古井 祐司 先生

講演 3 「事業所給食でのスマートミールの認証、普及の動向と課題（仮題）」

講師 静岡県立大学食品栄養科学部 教授 市川 陽子 先生

（日本給食経営管理学会スマートミール審査 WG リーダー）

以上

記録・文責

コンソーシアム世話役

日本栄養改善学会学術担当理事 武見ゆかり